

2015年2月3日

日立金属株式会社の化合物半導体材料事業を買収

住友化学は、本日、日立金属株式会社（以下、日立金属）の化合物半導体材料事業を買収することについて、同社と合意いたしました。買収の時期は本年4月1日を予定しています。

住友化学は、今回の買収により、日立金属の窒化ガリウム（GaN）基板・エピウエハ、ガリウムヒ素（GaAs）エピウエハ等に係る事業を取得します。GaN基板・エピウエハにおいて、日立金属は先駆者の一社で、最先端の技術レベルに位置しています。当社としては、市場が本格的に立ち上がり始めた電子・光学部品用途では事業拡大を図り、パワーデバイス用途の早期事業化にも注力してまいります。さらに、日立金属のリソースおよび同社の優れた量産技術を当社の技術と融合することで、現在当社が開発に取り組んでいる次世代GaNエピウエハの事業化も加速します。一方で、当社がすでに事業化しているGaAsエピウエハについては、それぞれのリソースを活用し事業基盤を強化します。

複数の元素を材料とする化合物半導体は、シリコンなどの単元素の半導体に比べて電子移動速度が速く、高速・高周波動作、受発光等の優れた特性があり、スマートフォン向け材料等の電子部品用途やLED等の光学部品用途をはじめ、産業の各分野に広く使われています。電力効率の向上により省エネルギー社会を実現する次世代パワーデバイス用途は、将来的に需要が大幅に拡大することが期待されています。

住友化学は、情報電子化学部門の長期事業ポートフォリオで、次世代パワーデバイス向け化合物半導体材料を有望分野と位置付けており、今回の買収を通じて事業を一層強化し、同分野におけるリーディング・カンパニーを目指してまいります。

以上